

概要説明

- 1、かすかべSDG s パートナーズの概要
- 2、春日部市SDG s 未来都市計画の概要
- 3、武里エリアの課題解決へ向けた取組について

1、かすかべSDGsパートナーズの概要

設置の背景

- ・SDGsを推進し、地域課題や社会問題を解決するためには、様々なステークホルダーが持つ強みを活かし連携することが求められています。
- ・「誰一人取り残さない社会」実現のためには、ステークホルダーと連携し、より多くの方のSDGs認知度、理解度を高めることが求められています。

設置の目的

春日部市では、2019年（令和元年）9月に「春日部市SDGs推進方針」を策定し、様々なステークホルダーとともにSDGsを推進し、持続可能なまちづくりを目指しています。

そこで、SDGsの達成に向けて取り組んでいる又は関心を持っている企業・団体が集う場として、「かすかべSDGsパートナーズ」を設置しました。ここでは、各々の自主的な取組を促進し、春日部市の課題解決へ踏み出すことを目指し、また、会員とともに市民に向けてSDGsの普及啓発を行い、地域全体のSDGs達成にむけたムーブメントを生み出していきます。

※参考：春日部市SDGs推進方針（令和元年9月30日策定）より抜粋

6. SDGs推進に向けた市の取組

- (1) 情報発信・普及啓発事業
- (2) 市によるパイロット事業
- (3) 小さな輪の繋がりづくり

SDGsの推進に向け、最小単位の「地域」から始まるSDGsに寄与する活動の支援を行います。具体的には、企業、大学、NPO、市民団体等といった異業種間での交流・マッチング等を行い、ステークホルダー相互における連携推進に取り組めます。

活動内容

- ・SDGsの達成に資する情報発信
- ・会員の交流及び連携に資する活動（継続的なパートナーズ会議等の実施）
- ・市民に向けたSDGs普及啓発活動（市民向フォーラムの実施等）
- ・その他、目的の達成に必要と認める活動

今年度中の取組について(実施検討中)

- 事業者向け講座（12月下旬予定）
（中小企業向け講座）
- かすかべSDGsパートナーズ第2回会議
（12月下旬予定）（ESG、取組事例紹介等）
- SDGsフォーラム（市民向け）（1～3月予定）
 - ・かすかべSDGsパートナーズ会員のブースの設置
 - ・有識者の基調講演
 - ・市内外の事例発表

※以上のイベント・会議は新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、実施判断を行っていきま

2、春日部市SDGs未来都市計画の概要

春日部2世、3世その先へと住みつなぐまち～未来へ発信する世代循環プロジェクト～

春日部市のSDGs未来都市計画「春日部2世、3世その先へと住みつなぐまち ～未来へ発信する世代循環プロジェクト～」は、高齢者が健康で安心して住み続けられる春日部、若い世代が「住み続けたい!」、就職や結婚で市外に出た人も、「再び春日部で暮らしたい!」と思える、コンパクトで質の高いまちを形成し、住みつがれていく『世代が循環する』まちの実現を目指すものとしています。

2030年の春日部市のあるべき姿

①子育てが楽しい、元気でいきいきと笑顔で暮らせるまち

②だれからも選ばれる、魅力的でにぎわいのあるまち

③未来へつながる、みんなで作る安心・安全なまち



あるべき姿の実現に向けた春日部市の取組

すべての世代にとっての快適な暮らし

- ・子育て世帯を支える環境づくり
- ・生きる力の育成を図る教育の推進
- ・高齢者の生き生きとした生活への支援
- ・地域社会と協力した青少年の健全育成
- ・三世代近居



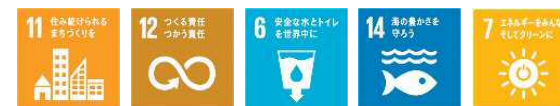
人が行き交うにぎわいの創出

- ・鉄道高架化による春日部駅周辺の整備
- ・多極ネットワーク型コンパクトシティの形成
- ・特長を生かした仕事の創出
- ・魅力ある商業環境と観光資源の活用
- ・空き家の利活用



環境に配慮し自然と共生する暮らし

- ・環境にやさしい、自然と人が共生した暮らしの実現
- ・防災・防犯対策の充実
- ・市域の温室効果ガス排出量の低減
- ・再生可能エネルギーの導入促進



3、武里エリアの課題解決へ向けた取組について

本市が2020年度SDGs未来都市等提案書におけるSDGsモデル事業の主な舞台である武里団地は、かつて東洋一の団地と呼ばれ、東京のベッドタウンとしての本市の発展を支えてきましたが、近年は人口減少、少子高齢化、団地の高経年化に伴い、エリアのにぎわいの低下が著しく、全国の高齢化率が、28.7%に対して、48%（市全体は30.5%）にもなっています。

ある意味、武里エリアは、春日部市全体の未来の縮図とも言える状況となっており、さらなる高齢化の進行も予想されるため、喫急な課題解決へ向けた取り組みが求められます。様々なステークホルダーとの対話の機会なども活用し、武里エリアが「だれもが住みたい、住み続けたいまち」となるよう魅力向上へ向けた事業の実施を目指します。

2020年度提案をした自治体モデル事業 高齢化率48%への挑戦！！～世代が循環する東洋一の団地再生～

経済面

魅力あふれる場の創出
（ストックの高経年化、数少ない女性活躍の機会）

社会面

超高齢社会への対応
（全国平均以下の合計特殊出生率、子育てへの不安、単身高齢世帯の増加と孤立化）

環境面

自然と人の共生
（環境負荷に対する配慮の不足、自然に触れる機会の減少）

アイデアをお寄せください

かすかべSDGsパートナーズ会員の皆様より、この武里エリアの課題解決に対して、アイデアの提案や協働できる取り組みがございましたら、ぜひ11月中を目安にお聞かせください。

（仮称）武里未来会議

武里エリアにおいて、UR都市機構や大学、企業、市民、金融機関なども交えて、自由な意見交換ができる機会となる「（仮称）武里未来会議」を設置します。